

奈良・平安時代 集落跡 新町前遺跡

一方、整理作業は…

新町前遺跡の第1次調査が終了して1年が経った。かつて発掘調査区だった場所には、清州高校の校舎が完成しようとしている。この場所に、古代のひとびとが暮らした集落や中世の水田が広がっていた風景をだれが想像できるだろうか。

さて、この1年埋蔵文化財センターの整理室では、新町前遺跡の整理作業が人知れず進んでいる。出土した遺物の洗浄や接合・復元作業、記録した測量図面や写真データの整理、報告書の執筆・編集～刊行・・・やらなければならない作業は山ほどある。しかし、整理作業において最も重要なのは、発掘調査の成果を地域の歴史に還元していくための「調査・研究」である。

見つかった遺構や遺物を図化して掲載するだけの発掘調査報告書では、学生でもできる仕事だ。我々にとって、調査・研究によるプラスアルファが腕のみせどころと言える。

(御山)



水が湧くなか、発掘

「こんなとこ遺跡なんか出ちゃこんよ！」これは、のちに北畠南遺跡となる地点において、令和元年5月に実施した試掘調査中、地域の住民の方に言られた一言である。調査の結果、地表下4mに中世の生活面、それ以下に古墳時代の生活面の存在が明らかとなり、11月より本格的な発掘調査が始まった。中世の東油川と言えば、武田信虎の叔父、油川信惠が館を構えたという。調査地点はその館伝承地に近く、16世紀前後の遺物も出土していることから、油川氏の勢力基盤とした集落の一端を垣間見ているのかもしれない。「こんなとこ」ではない。遺跡は意外と身近に埋まっているのだ。

(熊谷)



馬場平遺跡の発掘調査が終り、早くも3ヶ月が経過した。ついに、基礎的整理作業が始まり、出土遺物の様相が見えつつある。前ページにある整理作業の流れのうち、作業員にとって過酷な作業が始まった。それは接合・復元作業だ。皆土器の接合は経験があるが、水晶の接合は至難の業だ。「もう付かないよ」と作業員が嘆いていると、石器が専門の職員Sが通りすがりにどんどん土器も石器も付けていくと作業員が呆気に取られている。このような困難な作業を現在進めている。

馬場平遺跡から出土した水晶は、数えたところ557点となった。これらをどう分析したら、馬場平遺跡の特徴を最も引き出せるかを考えながら作業を進めている。(岩永)

個人的に縄文おしゃれカフェをやろうと企画していました。去年はトチの実のアグリツーリズムを教えてもらいましたが、失敗しちゃいました。ドングリのアグリツーリズムは成功しました。ヤブツルアズキとツルマメの栽培・収穫もしましたが、材料集めがなかなか大変。あまりたくさんにはなりませんでした。上司から「こんなにちょうどいいとじやお腹がいっぱいにならないよ」と突かれてしましました。エーン(泣)(も)

新埋聞文

遺跡速報

◎月日 (○)
2020年(令和2年)

発行所: 山梨県甲府市下曾根町923
〒400-1508 電話 055-266-3016
山梨県埋蔵文化財センター

史跡課Kさん古墳愛

Kさんのあふれんばかりの古墳愛が炸裂しました。
45面

縄文土器「型式」とは

土器型式は成り立つの?
?縄文部会が学会に問う。「型式」とはなにか。
18面

石垣を愛して

14面



埋蔵文化財の基礎知識



発掘調査
すごく付

写真: 北畠南遺跡

埋蔵文化財センターは、土地に埋蔵される文化財（埋蔵文化財）を調査する機関です。今回は、そんな埋蔵文化財センターの主な仕事である埋蔵文化財調査特集です！

みなさんもきっと一度は聞いたことがある「発掘調査」。出てきたお宝をハケやクシでちょこちょこと慎重に掘っていく…そんなイメージかもしれません。もちろん、そんな作業もありますが、それだけではありません！ガンガン掘ってドンドン掘って！繊細さと大胆さと研究心を兼ねそなえたガテン系なお仕事。それが発掘調査です。

たまに発掘調査の見学会が実施されますので、この冊子で勉強して、遺跡見学にかけましょう！

NEXT PAGE 遺跡調査の流れ▶

用語解説

遺構: 竪穴住居跡などの土地に残された痕跡（不動産）
遺物: 土器や石器などの道具類（動産）

